

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
平成29年度 第5回相談支援部会 会議録

日時 平成30年3月5日(月) 13:30~14:40

場所 乙訓保健所 講堂

出席者 15名

乙訓障がい者基幹相談支援センター、乙訓ひまわり園、相談支援事業所・地域活動支援センターアンサンブル、向日市社協障がい者地域生活支援センター、こらぼねっと京都自立支援センター、乙訓ポニーの学校、大山崎町社会福祉協議会、京家連乙訓やよい会、乙訓の障害者福祉を進める連絡会、向日市障がい者支援課、大山崎町福祉課

欠席者 5名

長岡京市障がい者地域生活支援センター「キャンパス」、京都府立向日が丘支援学校、乙訓保健所福祉室、長岡京市障がい福祉課

事務局 2名

傍聴者 0名

配布資料 ・次第
・相談支援部会 活動報告(案)

議事の流れ

(部会長)

・では、時間になりましたので、第5回 相談支援部会を始めます。

1 今年度のまとめと来年度の取り組みについて

(部会長)

・今日は今年度最後の部会です。まとめの活動報告案の読み合わせをし、ご意見をいただいて完成させたいと思います。

(副部会長)

【1 設置の経過と目的、役割等 読み上げ】

・1は、これまで載ってきた内容と同じなのでそれがいいかどうかの確認です。

(部会長)

・何かございますか。特になければこれで確定とします。

(副部会長)

【2 昨年度までの経過 読み上げ】

- ・ 3段落まで去年と同じ文章です。後半部分、長くて読みづらかったのですがどうでしょうか。

(委員)

- ・ 1行目、「スムーズな支援につながる」というところ、「スムーズに支援につながる」ではないでしょうか。

- ・ 10行目、「福祉従事者の人材定着」というところ、「人材」はいらないのでは。

- ・ あとは読みにくいところをどうするかですね。「読み解きました」で区切った方がいいです。

(部会長)

- ・ 2についてはよろしいですか。

- ・ 次3番お願いします。

(副部会長)

- ・ 3番は、日にちは多分大丈夫かと。

(副部会長)

- ・ 今日の日付、5日ですね。

(委員)

- ・ 「講堂にて」の「にて」はいらないと思います。

(部会長)

- ・ はい、いいですか。

- ・ 次、4番お願いします。

(副部会長)

【4 (1)(2) 読み上げ】

(委員)

- ・ ③の「基幹相談支援センターで受け付ける」のところ、今もっている事例だから「受け付けた」ではないでしょうか。

(副部会長)

- ・ まだ進行している事例なので「受け付けている」にします。

(委員)

- ・ ②3行目、「各市町の担当者に提出しました」というところ、各市町から出ている委員が報告をしたので表現をなおす方がいいと思うのですが。「平成29年度は28年度までの経過を踏まえ、障がい福祉計画に反映してもらうために障がい福祉計画への提案としてまとめました。」にしてはどうでしょうか。

(委員)

- ・ 二市一町も委員として部会に出席しているので当然報告がいつているという解釈ですね。

- ・ それを前提とするのか、報告がいつたことを強調するのか。

(委員)

- ・ 強調するなら、「市町選出の委員が報告をしました。」とするのがいいでしょうか。

(委員)

- ・ 「提出」という言葉でなければいいと思います。

(委員)

・基本的にはこの会議の報告は全部あげているのでね。

(副部会長)

・当たり前なことなので抜くことにします。

(委員)

・でも、部会に出席している行政の担当者が課内で報告をあげるのと、それを策定委員会に伝えるのは同じではないですね。

(委員)

・大山崎町は、ここでもらった提案を資料として添付して、GMに説明してもらいました。

(委員)

・形としては、ここで提案としてまとめたものを踏まえて行政で案を作る。で、その案を策定委員会で提示し、この提案も一緒に提示して説明をしていただき検討されました。

(委員)

・成果としてどうあげていくかという話になりますがそれは入れた方がいいのではないですか。

(GM)

・時期的なもので市町によって策定委員会での対応が違うので微妙です。

(副部会長)

・では、最初のとおりでいいですか。

(委員)

・はい、うそのない形で。

(副部会長)

・②、「策定委員会」が2回出てくるのであとの方を消します。

・「まとめました」のあと、つなぎの言葉を入れたいのですが。

(GM)

・「さらに」がいいと思います。

(部会長)

・今更ですが「GM」の正式名称は何でしたか。

(GM)

・ジェネラルマネージャーです。

(委員)

・①の下から3行目、「一人では見えなかった本人の背景や環境のストレングスなどに気がつきました。支援方法に悩んだ時は」のところ、「支援方法」と言うと直接処遇の方法と取りやすすくないかと思ったのですが。サービスの調整も計画も支援方法ではあるので。ひっかからなければ大丈夫です。

(部会長)

・では、「方法」を取るということで。

・他、いかがですか。

・「乙訓障がい者基幹相談支援センター」「基幹相談支援センター」「基幹センター」と3種類の書き方が出てきますが、どうでしょうか。

(副部会長)

・1種類にしたいので「基幹相談支援センター」に統一します。

(委員)

・①の2段落3行目、「ファシリテーターを行い」のところ、「ファシリテーターとなり」の方がいいと思います。

(部会長)

・他、いかがですか。

(副部会長)

・4ページ上から3行目、「さらに、議論の中で相談支援事業所につながっていない事例があることも報告され」のところ、もっと強調した方がいいと思います。西村委員からの「精神の方で事業所にもつながらない方が多くおられる」という報告がこの部分だと思います。

(委員)

・はい、とても多いです。半分弱は支援につながっていない状況です。「あることも」ではなく、「あります」という感じです。

(副部会長)

・では、「さらにこの議論の中で相談支援事業所につながっていない事例も多くあることが報告され」にします。

(部会長)

・5番お願いします。

(副部会長)

【5 次年度の課題と方針 読み上げ】

(委員)

・最後の「このため、より具体的なテーマに絞った部会構成が必要になります」の「部会構成」とは具体的にはどういうことを指しているのでしょうか。

(部会長)

・具体的な構成は自立支援協議会の運営委員会で検討することになっています。相談支援部会としてはまとめを提出し、それを踏まえて「何々部会が必要だ」などの検討をされます。

(委員)

・そういう検討をされるなら「必要になります」と断言しなくてもいいのかと思うのですが。

(副部会長)

・部会長、副部会長、GMでこのまとめのたたき台をつくりました。引継ぎとして3本柱をあげたのですが、はたして来年度相談支援部会としてとりあげる内容なのか、テーマと部会名がっているのか、他の部会と重なってくる部分があるのではないかという話になりました。

(部会長)

・確かに説明がなければ初めて見る人にはわからないと思います。もう少し説明をたすのか、報告だけで終わらせてしまうのかどちらがいいでしょうか。

(委員)

・ここ数年の傾向として、相談支援部会、地域生活支援部会という漠然とした部会名にして、色んな課題を盛り込んでやってきたと思います。相談支援部会もそれなりの成果をあげて課題抽出はできている

ので、来年度は部会の命名も含めてテーマを絞った部会構成をしてほしいという提案ですよね。

・来年度何部会になるかは運営委員会で議論をし全体会で提案で構わないので、もう一言具体的で前向きな提案としてわかりやすい文章に変えるかどうか。「検討状況を視野に入れた議論をすることも重要です」

(部会長)

・今のご意見聞くと、報告をする部会長の立場からすると最後の1文を取った方がいいかなと思いました。そこまで部会として言えるかという点と難しいと思いましたが。

(副部会長)

・最後の1文は部会内で話し合っていないことだと思います。

(委員)

・部会構成がどうなろうと、次年度集まった人たちでどうするのかという話になるので「重要です」と切っておいて、申し送りとしてはこの内容ですという形にした方がいいと思います。

(委員)

・結論がないのも文章的には最後までまとまりがないように思います。

(副部会長)

・全部会からの課題をみて運営委員会が部会構成を考えるので「重要です」でとめてもいいと思います。

(GM)

・ここは方針を書くところなのに方針が全くないのでこれならタイトルを変えないと。

(部会長)

・タイトルを変えてもいいのですか。

(GM)

・全部会タイトルはいっしょなのでね。何をするかは書くべきだと思います。書きにくいと思いますが柔らかい文章にするなどして「必要がある」という書き方を最後にしないとだめだと思う。

(委員)

・「重要です」で終わっていいと思ったのですが、みなさんの意見を聞いて、次年度にどうつなげていくか書いておいた方がいいと思います。

(委員)

・絞り出しても、どうつなぐかは書いて次年度に送った方がいいと思います。

・支援が行き届いていない人への支援はアウトリーチや訪問診療などになるのでそれはここで取り上げる課題ではないと思います。

(委員)

・全部会のやってきたことを整理し、相談支援部会のあり方も含めて、取り組むべき課題は何かを明確にすることがある意味課題になっているのなら、それを足した方がわかりやすいと思います。「共生型地域づくり構想」も本当に相談支援部会で話すべきかもニュアンス的にはあると思います。

(委員)

・最後の1行は、意図して書かれている文なので、そこがわかるような形の文章にしてはどうかと思います。

(委員)

・最後の1行を入れるのであれば、このままでは漠然としすぎて読み取れないので、少し足していただ

けたらと思います。

(部会長)

・ありがとうございます。では、丁寧に文章は付け加えた上で入れたいと思います。文言についてはこちらにまかせていただけますか。よろしくお願いします。

(委員)

・その前の段落の「提出」には、またひっかかります。

(委員)

・4行目の「検討した9事業」のところ、前になおしていただいたのに合わせると、「検討した9事業について各市町に提案するなど積極的に活動を行ってきました」に変えてはどうでしょうか。

(部会長)

・それに変更させてもらいます。

・全体を通して何かありますか。

(委員)

・5①の「事業所間の顔が見える」のところ、文章としておかしい。「事業者間の顔が見える」だと思います。

(部会長)

・支援者間が適切ですね。

(委員)

・「事業所が抱える事例の共有や解決に向けて協働する仕組み」のところ、「事業所が抱える事例の共有」にしてしまうと、「つながっていない事例がある」ということが入らないと思います。

(委員)

・支援は出来なくても把握ぐらいはしておいてほしいというのがあります。

(委員)

・「対応すべき事例の共有」と含みを持たせるか、「事業所の抱える事例の共有や支援が届いていない事例についても解決に向けて協働する」と一言入れるのがよいか。

・「事業所が抱える事例の共有や支援が行き届いていない人達に向けての課題の解決に向けて協働するしくみ」とするか。

(部会長)

・その方が具体的でいいですね。

(委員)

・解決策がなくても共感してほしいという思いは常にあります。

(部会長)

・では、付け加えさせていただきます。

・他、全体を通して何か。

(委員)

・4(2)の2段落目、「前半は華頂短期大学の武田康晴教授に講義をお願いしました」のところ、「お願いしました」で終わるより、講義でどういうことを学んだかという内容を少し入れた方がいいかと思うのですが。

(副部会長)

・最初、入れていましたが、3(3)で研修会のテーマとサブタイトルがあるので言わなくてもいいのではと思い抜きました。

(委員)

・わかりました。

(部会長)

・では、全体を修正したものをまたメールで配信させていただきます。

(委員)

・先程あがったところですが、5①「事業所間の顔」のところ、「支援者の顔」になりましたね。これだと違う事業所の支援者の顔と理解できるでしょうか。

(GM)

・「事業所の支援者同士の顔が見える」にした方がいいと思います。

(部会長)

・それに変えさせていただきます。大丈夫でしょうか。

・今年度の活動内容はこの文面で報告させていただいて、来年度以降はより具体的なところで運営委員会に預ける形になるので、相談支援部会としてはどうなるかわからないということで終わります。

・1年間ありがとうございました。